

平成30年度事業計画

平成30年度運営方針

平成29年の日本経済をみてみると、堅調な雇用や所得環境の改善を背景に消費も緩やかに回復しています。また、海外経済が回復する下で輸出・生産活動の持ち直しが続くとともに個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し日本経済の好循環が実現しつつあるといえます。物価の動向については、原油価格の上昇の影響により国内企業物価・消費者物価は前年に比べ上昇しています。

観光産業においてはインバウンド市場の伸び率には目を見張るものがあります。昨年の訪日客累計は28,690千人で、前年比19.3%増となりました。観光庁が2月に発表した平成29年年間宿泊旅行統計調査（速報値）においては、日本人延べ宿泊者数が対前年を0.7%下回りましたが、外国人延べ宿泊者数が対前年12.4%増となったことで全体の延べ宿泊者数を押し上げる結果となり1.2%増となりました。

三重県に目を向けると、昨年は全国的にも大きなイベントとして「第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）」が開催され、58万4千人の来場者がありました。一方、観光庁の観光統計（速報値）による県内の延べ宿泊者数は8,190千人で対前年12%の減、インバウンドにおいても21%ほどの減となっています。原因として中国人団体旅行の減少等も考えられますが、インバウンドについては全国的に見てもまだまだ伸びしろがあり、今後が期待される市場と言えます。

三重県観光連盟は昨年、日本版DMO候補法人として観光庁に登録されました。地域連携型のDMOとして、デジタルマーケティングを用いたデータ収集・分析と、公式サイトを活用した広域プロモーションを柱に活動していきます。幸いなことに当連盟の公式サイトは、日本観光振興協会発表の「2017年都道府県公式観光情報サイト年間閲覧者数ランキング」においてPC閲覧者で全国5位、スマートフォンは3位になりました。「観光情報Webプラットフォーム」としての機能を拡充するとともに、さらなる多言語化を行い、インバウンド市場へも積極的に取り組みます。

来年度は全国高等学校総合体育大会が三重県を主としたこの地域で開催されます。全国からお越しになるお客様に、三重県の豊かな自然、伝統行事、伊勢神宮を中心とした日本古来の文化を再認識してもらい、三重県ファン・リピーター、三重県の宣伝マンとなつて頂けるよう関係機関と協働連携を図ります。また、当観光連盟は情報収集、情報発信、誘致活動を通して会員のみなさまに効果的なバックアップができるよう活動していき、これからも更に県内観光収入の増加、地域の活性化に力を注いでまいります。

平成30年度実施事業

めざす姿 三重県観光の総合的な情報受発信機能を担う機関として、観光情報の収集・戦略的な提供、誘客促進を行い、来訪者の増大、県内での周遊性・滞在性の向上を図り、観光消費額の拡大を目指します。
これにより、観光事業の健全な発達と振興（観光の産業化）並びに地域の活性化を図ります。

○目標数値（KPI）

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	【実績】	対前年度比	【見込】	対前年度比	【目標】	対前年度比
1. 旅行消費額	4,919億円	101.8%	4,900億円	99.6%	4,950億円	101.0%
2. 延べ宿泊者数	930万人	98.3%	990万人	106.5%	995万人	100.5%
3. 来訪者満足度	26.7%	124.2%	23.5%	88.0%	24.5%	104.2%
4. リピーター率	84.6%	104.6%	86.0%	101.7%	87.0%	101.2%
5. 外国人延べ宿泊者数	351,870人	89.8%	410,000人	116.5%	430,000人	104.9%
6. 再来訪意向	40.0%	102.3%	41.0%	102.5%	42.0%	102.4%
7. 公式サイトアクセス数	1,715万PV	118.4%	1,579万PV	92.1%	1,820万PV	115.3%
8. SNSファン数 (Facebook, Instagram, Twitter, LINE)	30,511人	211.0%	43,400人	142.2%	51,500人	118.7%
9. 地域DMO等事業者支援件数	—	—	20件	—	25件	125.0%
10. 宿泊予約金額 (宿の予約サイト経由)	5,302万円	110.1%	4,825万円	91.0%	5,066万円	105.0%
11. 広告収入額	758万円	145.7%	867万円	114.4%	900万円	103.8%

※1～9は、日本版DMO形成・確立計画にも記載

※平成29年度の「見込」数値のうち、1～6は見込数値が出ていないため「目標」数値を記載

※「3. 来訪者満足度」は、三重県「観光客実態調査」の「総合満足度」の項目における「大変満足」の数値

※「4. リピーター率」は、三重県「観光客実態調査」の「来訪回数」の項目における「宿泊客の来訪回数が2回目以上」の数値

※「6. 再来訪意向」は、三重県「観光客実態調査」の「再来訪意向」の項目における「大変そう思う」の数値

○平成30年度の主な取組

〈 1. 観光W e b プラットフォームの拡充 〉

当連盟の強みである公式サイトについて、観光に関する情報・商品・サービスを一元的に集積して発信・販売する「観光W e b プラットフォーム」としての機能を拡充することで、国内外においてマイクロモーメント（人々が何かを欲した瞬間に行うスマホでの検索行動）を捉えたプロモーションを展開していきます。

またDMOとして、観光関連事業者の方々に活用してもらえるマーケティングデータを蓄積できる仕組みを構築していきます。

〈 2. 観光情報発信機能の強化 〉

ニーズに応じた観光情報を発信するため、公式サイトのアクセス解析データに基づいてコンテンツの改善を図るP D C Aサイクルを月単位で回していきます。

またS N Sにおいて、特性に応じた情報発信方法を工夫することにより、口コミを誘発する観光情報を拡散させていきます。

〈 3. インバウンドに対する取組の強化 〉

インバウンドに対する情報発信力を強化するため、多言語サイトを充実するとともに、S N Sでも多言語で発信することでF I Tのニーズに対応し、インバウンドの誘客を促進します。

○平成30年度実施事業

1. 観光情報の収集発信

（1）観光情報提供事業（28, 759千円）

公式サイトやS N Sを活用して観光情報を効果的・効率的に発信するとともに、電話等による問い合わせに対しニーズに応じた案内を行います。

① 公式サイト、公式S N S運営管理

公式サイト「観光三重」について、観光スポットやイベントの情報を分かりやすく紹介する取材レポート記事を増やすことで、ユーザーニーズに応え、より魅力のあるサイトにしていきます。

また、「三重県の観光情報を発信するメディア」として、バナー広告やコンテンツ連動型広告（グーグルアドセンス）に加え、タイアップ記事広告も掲載することにより、広告収入の増収を図ります。

※グーグルアドセンス：グーグルがサイトの内容を読み取り、そのサイトに最もマッチした広告を自動判別して表示し、サイト訪問者が広告をクリックする毎にサイト管理者に報酬が支払われるクリック報酬型アフィリエイト広告。

○ マーケティングデータの活用

公式サイトのアクセスデータを専門事業者に解析してもらい、課題を抽出して改善提案をしてもらうことで、コンテンツを迅速に更新していきます。

また、アクセス解析データを観光連盟会員にフィードバックしてホームページの改善施策について提案することで、三重県全体の観光情報発信力を底上げします。

○ 公式サイトを中心とした情報提供

取材レポート記事を増やすとともに、イベント・スポット・モデルコース情報を充実します。また、ユーザーの約7割がスマートフォンを利用して閲覧していることから、スマートフォンで情報が得られやすいようなレイアウトで発信します。さらに、メールマガジンによる情報発信を行います。

○ SNSによる情報発信、拡散

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINE@の公式アカウントにおいてSNSの特性に合わせた観光情報を発信し、拡散される内容を投稿します。

SNS	平成28年度 〔実績〕	平成29年度 〔見込〕	平成30年度 〔目標〕
フェイスブック (ファン数)	17,062人	21,800人	23,000人
ツイッター (フォロワー数)	4,482人	7,600人	8,500人
インスタグラム (フォロワー数)	5,152人	9,500人	15,000人
L I N E @ (有効友だち数)	3,815人	4,500人	5,000人
合 計	30,511人	43,400人	51,500人

② 観光案内

電話、インターネット、窓口等での観光案内や観光資料等の提供を行います。

③ みえ食旅パスポート運営支援事業（県事業受託予定）

「みえ食旅パスポート」事業について、利用者等からの問い合わせに対する案内業務を行うとともに、公式サイト「観光三重」内に構築した特設サイトを管理運営し、Webプロモーションを実施します。

（2）観光情報提供強化事業（23,038千円）

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、会員を中心に県内の主な観光施設等を紹介した「三重の観光ガイド」の発行を通じ、観光地情報、イベント情報等のきめ細かい情報発信を行います。

① 季刊紙「観光三重」の発行（年4回、各23万部予定）

三重県内の最新観光トピックやイベント情報などを幅広く紹介する季刊紙を発行し、紙媒体の特性を活かした観光情報を提供します。また、デジタルブックを公式サイト「観光三重」に掲載することで、より多くの方に見てもらえるようにするとともに、読者アンケートによりユーザーニーズを把握し、紙面の企画に反映します。

② 「三重の観光ガイドブック」の改訂

県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等の観光情報を網羅的に紹介するガイドブックを改訂します。

(3) 広域観光事業 (1, 088千円)

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR・観光客誘致を推進します。

○ 観光展等の開催

日本観光振興協会（関西支部）・関西6府県と連携し、県外での観光展等においてPR活動を行います。

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業 (2, 399千円)

旅行エージェント等へのセールス活動や県内外で開催されるイベントにおいて観光PRを行い、誘客促進を図ります。

① 大都市圏会員活動支援事業

三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）や三重県観光関西協議会（三重路会）の会員による旅行エージェント等へのキャラバンセールスに参加し、団体客やMICE等の誘致促進を図ります。

② F1日本GP地域活性化協議会への参画

F1日本グランプリ等において観光PRを実施します。

(2) 協働宣伝事業 (4, 687千円)

観光連盟会員の強みを活かしながらマスメディア等を活用した情報発信を行うとともに、メディア関係者等を対象にタイムリーな情報提供を実施します。

① ラジオ番組等でのPR（観光連盟会員出演による情報発信等）

岐阜放送、FM鈴鹿等のラジオ等を使った定期的な観光情報の発信を行います。

② 事業企画・宣伝委員会による事業展開

観光連盟会員の持つ様々なアイデアやノウハウ、マーケティングデータを活用するため、事業企画・宣伝委員会にて新たな企画を実行することで、より効果的な観光誘客事業を展開します。

③ メディア関係者に対する継続的な情報提供

メディア関係者に対し、専用ホームページ・メールマガジンを通じて継続的な情報発信を行います。

3. 観光産業及び観光文化の振興

観光物産連携事業 (925千円)

三重県物産振興会と連携し、県外中心に開催される物産展において観光物産のPRを展開し、三重県への来訪促進を図ります。

○ 物産観光展への出展（三越日本橋店、山形屋等の百貨店での開催を予定）

4. 観光基盤整備

観光基盤整備事業（30,066千円）

観光連盟が全県DMOとして「地域DMO等の観光ビジネスを行う主体をサポートする」役割を担い、「マーケティングデータの分析・提供機能」、「広域プロモーション機能」を発揮するための取組を実施します。

また、地域懇談会や会員向けの情報発信を行うことにより観光連盟会員同士のネットワークを強化するとともに、観光ボランティアガイドの活動をサポートします。

① 全県DMO推進事業（県事業受託予定）

全県DMOとして、観光関連事業者の方々に活用してもらえるマーケティングデータを蓄積できる仕組みを構築するとともに、デジタルマーケティングのサポート等を通じて地域DMO等の観光関連事業者を支援していきます。

また、インバウンド向けプラットフォームを構築していくため、英語サイトを新規に制作・公開します。

さらに、DMOにおける専門人材として観光連盟職員のスキルアップを図ります。

② 地域懇談会の開催

観光連盟の事業運営についての会員からの意見や会員相互の情報交換・意見交換の場を設定し、ネットワーク強化のため地域懇談会を実施します。

③ 会員向け情報の提供（メール通信）

観光連盟会員向けのメールマガジンを定期的に発行し、観光行政情報、組織内情報、市場動向等の各種観光情報を提供します。

④ 観光ボランティアガイド事業

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会と連携し、観光ボランティアガイドの活動をサポートすることで、地域におけるおもてなし力の向上を図ります。

⑤ 観光事業振興功労表彰

観光事業の発展、観光サービスの質的向上に資することを目的に、三重県の観光事業振興等の分野において貢献し、観光客の誘致等に寄与した方を表彰します。

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業（3,803千円）

インバウンドの誘客につながるよう、多言語サイトの運営管理を行うとともに、SNSを活用して海外への情報発信を強化します。

① 公式多言語サイトの運営管理

平成29年度末に公開予定の繁体字サイトと、平成30年度中に公開予定の英語サイトの運営管理を行います。

また、観光連盟会員のもつ多言語コンテンツ（多言語ホームページ、多言語パンフレット等）を公式多言語サイトで紹介することにより、効果的にインバウンドに向けた情報発信を行います。

② SNSによる海外への情報発信（県事業受託予定）

フェイスブック（7言語：英語、韓国語、繁体字、タイ語、フランス語、ドイツ語、スペイン語）、微博（ウェイボ：簡体字）、Instagram（3言語：英語、繁体字、タイ語）を活用し、個人の外国人旅行者（FIT）をターゲットに、FITが求める魅力的でタイムリーな情報発信を行います。

③ 着地型・体験型プログラム通訳派遣事業

着地型・体験型プログラム主催者等からの要請に応じて（公財）三重県国際交流財団の通訳パートナーのボランティア通訳を派遣し、FITが安心安全にプログラムを体験できるよう受入環境の向上を図ります。